

こだま Q&A 

Q84

B型肝炎訴訟における HBc 抗体検査について、HBc 抗体陽性(高力価)の判断基準はどのくらいの値になりますか？また、検査方法は CLEIA でしょうか？

A84

当検査センターで受託している HBc 抗体検査〔CLEIA〕の陽性（高力価）の判断基準は、100.0（C.O.I.）となります。また、B型肝炎訴訟における HBc 抗体検査の検査方法ですが、平成24年1月13日から施行された「特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法」で、HBc 抗体検査における検査法（測定法）の記載がないことより CLEIA で問題ありません。

ただし、当検査センターでは、平成29年1月5日ご依頼分より、HBc 抗体の検査方法が、CLIA から CLEIA へ変更となっております（検査センターインフォメーション No.2016-51参照）ので、以前の方法で受託していた場合は以下の注意が必要です。

※注意

HBc 抗体〔CLIA〕の高力価の判断基準は、CLEIA とは異なりますのでご注意ください。HBc 抗体〔CLIA〕の高力価の判断基準は、10.00（S/CO）となります。

お問い合わせ：☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 担当 生化・免疫係(免疫血清担当)


きやちボール

明けましておめでとうございます。

昨年は私にとって検査センターに再就職という大きな出来事がありました。そして、今回の検査室発で取り上げた「液状化検体細胞診（LBC）」と出会いました。第一印象は「きれい！」でした。その上、検鏡視野が狭く、細胞検査士にとってこんなに嬉しいことはありません。ところが実際には、背景や集塊はもちろん個々の細胞まで従来法と微妙に違っていました。今は細胞診専門医の先生のご指導をいただいて、LBCの“目”を作っています。

LBCは免疫細胞化学や遺伝子検索などへの転用が可能なので、婦人科以外の検体でも利用が増えてくると思われます。今後も時代の進歩に負けないよう技術向上を目指してまいりますのでご指導のほどよろしくお願い致します。

佐々木 美恵（検査科病理・細胞診係主任）

<広報委員> 谷敷 圭美 / 橋本 健 / 藤井 ひとみ / 三宅 康雄 / 加藤 与旨多 / 藤本 彩咲日

*本誌はウェブページでもご覧いただけます。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/newsletter>